

平成16年4月8日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

4月定例会見における武黒所長挨拶内容

4月で年度始めということもありますので、プラントの状況や、作業管理の改善及び業務品質マネジメントの向上についての取り組み、環境共生公園の工事の着工といった3点について申し上げます。

● プラントの状況について

本日午前0時51分、1号機が発電を再開しました。深夜に取材にお出でいただいた方もあり、大変ご苦労様でした。1号機は584日ぶりの発電開始となり、これから徐々に出力を上げていきます。長期間停止していたため、これまでの起動プロセスについても設備の様子を慎重に見極めながら進めており、これからは通常より出力を上げるペースを抑え、いくつかの段階で確認を行いながら進めてまいりたいと思います。原子炉隔離時冷却系の不調もあったため、当初予定していた工程よりも1週間程度の遅れが生じていますが、この後の出力上昇に特段の問題がなければ、週明けには定格出力に到達すると想定しています。したがって、3号機は1号機の出力の運転状態が安定した段階で原子炉の運転を再開したいと考えており、まだ未定ですが来週になろうかと思っています。

5号機は、先にお知らせしていますが、いくつかの検査が終了していないことから、定期検査工程として従来想定していたものより半月程度遅れています。運転再開についてお願いする時期についても、4月上旬から若干遅れると思いますが、願わくば今月中には運転再開プロセスが進められればと考えています。我々の希望ですが、今月中には1, 3, 5号機という運転再開のプロセスがあり得るということを想定しており、後続の2号機について格納容器漏えい率検査の実施時期は、業務の輻輳を避けるためにも、当初予定の今月中から連休明けの方が良いのではと検討しているところです。追って、工程についてはお知らせさせていただきます。

いずれにしろ、一つずつ慎重かつ確実という基本線は、今後もまっとうしたいと思っています。何かあったら立ち止まって、よく考える「STAR」と「報・連・相」を欠かさずに実施することを心掛けたいと思います。

● 作業管理の改善と業務品質マネジメントの向上についての取り組み(発電所の再生活動)について

1・3号機の運転再開にあたり、平山知事から「作業管理の徹底、品質保証体制の確立」などについてご指導をいただいています。その他に情報公開、透

明性、設備点検の強化というご指摘がありますが、これらについてしっかり対応する必要があると思っています。

これまでに作業管理改善検討会の合同推進チームが、約5ヶ月間の活動報告を具体的な改善項目を含めてとりまとめています。これまでの一連の活動によって、現場に即した現場の中からの改善ということについて、それなりの下地ができてきたのではと感じており、改善活動を進めるためには、その浸透に向けた、この活動を継続したいと考えています。合同推進チームに参加いただいている方々については、各企業からのご理解を得て当社が費用を負担し、お願いしているところであり、今回一部のメンバーは入れ替わりますが、合同推進チームの活動は継続し、この活動が発電所の現場の改善に役立つようなスポンサーシップを発揮していきたいと考えています。

二つ目として、物品搬出管理に関しては、業務プロセスの明確化、業務遂行の各過程における品質マネジメントの向上が必要だと思っており、同じように原子力安全・保安院からのご指摘をいただいているところでもあり、3月12日より私が主査となり「物品搬出改善検討会」を設置し、検討を進めているところです。当所と協力企業とが一体となり、搬出や物品の識別や作業工程における管理の改善などについて、これまでの曖昧さや不明確さをなくすように具体的な改善策を取りまとめており、月末を待たずに、まとまり次第、原子力安全・保安院に報告したいと思っています。ただし、まとまってからアクションを起すというよりは、検討が進みある程度良いと判断できるものについては手順を踏み、実施してまいりたいと考えています。

三つ目としては、作業管理、搬出の改善も含め、現場管理の点で不十分であったと言え、その背景には大勢の現場で働いていただいている方々、現場第一線の方々とのコミュニケーション不足、風通しの悪さがあったと思っています。当社としても現場実態の把握に努めることは勿論のこと、現場第一線の方々からも、発注者・受注者を超えて積極的に意見をいただけるような条件整備が必要だと思っています。そういう意味で、現場作業の中心的役割を果たす作業班長が発電所内には約800名いらっしゃいますが、この作業班長を対象としたリーダーシップ研修を2月から開始し、3月末迄に約770名の作業班長が参加し、間もなく全員に対する研修が終わるという状況です。研修の中でさまざまなご意見を率直にいただけるようになってきていると思っており、元請企業各社においても、作業班長の技術・技能の維持・向上を目指した研修を今年度から拡充するという計画をまとめていただいています。今後、具体化して実施されることとなりますが、私どももこの状況をよく見ながら、現場の強化、改善に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。こうした気運が発電所の中でも生まれてきています。

また、これに加えて、米国で原子力発電所の再生活動に中心的な役割を果たした専門家のもとでの、発電所の再生の推進役となる実務者・GM層の研修を今年度も進めていく予定で、合計7回、当発電所から約50名を派遣する予定としています。いずれも1回あたり2週間の研修となります。短期間の研修とし

て、発電所の副所長、部長級の幹部に対する研修もすでに行っていますが、今年度も継続的に実施していきます。研修・実務の両面で、具体的な品質マネジメントの向上になお一層拍車をかけていきたいと考えています。

● 環境共生公園の工事着工について

全号機竣工記念事業として平成9年に計画を発表して以来、公園の構想および計画の検討、そして設計内容について、柏崎刈羽地域の方々や知見のある方々から様々なアドバイスを頂いてきました。私共としても、自然環境を最大限に活かし、公園予定地の土地や取り巻く地域が持つ魅力を最大限に引き出していく計画づくりに取り組んできたところです。

設計も固まり、必要な各種許可もいただき、工事会社も決定し、この4月から平成18年度の開園に向けて工事に着手することになりました。

環境共生公園の特徴は、このフィールドを中心に、自然体験、環境体験、生活文化体験を通じ、持続可能な社会作りを目指し、ライフスタイルについて考え、学び、作り出すことであり、全国にあまり例のない「環境学校」を展開することにあります。フィールドとしての環境共生公園、これを生かす環境学校は地域の方々とのパートナーシップによって運営していく仕組みを考えています。そのためには、地域の方々からの積極的な参加が大変重要で、既に様々な団体から活動を始めていただき、参画していただいておりますが、さらに大きな活動の輪として広がっていくよう努めてまいりたいと考えています。

この環境共生公園、環境学校の展開を通じて、柏崎刈羽地域の将来を担う子供たちの育成と、世代や地域を超えた交流が行われるようになればと願っており、そのために努力してまいりたいと思います。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX (H16年4月)

平成16年4月8日

発電所運転状況

プラント名	現在の運転状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			5	6	7	8	9	10	11	12	H16 1	2	3	4	
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	第13回定期検査中 H14.9/3~4/8(584日)停止 現在調整運転中	第12回 H13.5.7~H13.8.24 停止期間5/7~7/29(84日) 営業運転再開H13.8.24	第13回定検による停止												【1号機】 平成14年9月3日以来、第13回定期検査を実施してきたが、本日(4月8日)、発電を開始し、現在調整運転中。 今後、総合負荷性能検査を受け、5月上旬頃に定期検査を終了する予定。 【2号機】 原子炉再循環系配管補修工事終了。(お知らせ済) 【3号機】 起動準備中。 【5号機】 3月23日に原子炉格納容器漏えい率検査実施。(お知らせ済) 【6号機】 * 3月26日、10台ある原子炉再循環ポンプのうち、1台(ポンプD)のポンプケーシングに若干の振動上昇が確認されたことから、同日、当該ポンプを停止。(3/26~4/6電気出力約134万kWで運転) 同ポンプを再起動するため、4月6日22時より出力を一旦約102万kWまで低下させ、同
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	第10回定期検査中 H15.3/10~ (点検停止H14.9/20~3/9)	第9回 H14.3.29~H14.5.24 停止期間3/29~4/29(32日) 営業運転再開H14.5.24	第10回定検による停止												
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	第7回定期検査中 H14.8/10~	第6回 H13.4.17~H13.8.8 停止期間4/17~7/13(88日) 営業運転再開H13.8.8	第7回定検による停止												
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中 (定格熱出力運転)	第7回 H15.1.7~H15.8.20 停止期間1/7~7/25(200日) 営業運転再開H15.8.20	第7回定検による停止												
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	第10回定期検査中 H15.3/1~	第9回 H14.1.14~H14.3.26 停止期間1/14~2/24(42日) 営業運転再開H14.3.26	第10回定検による停止												
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	運転中* (定格熱出力運転)	第5回 H15.1.27~H15.6.10 停止期間1/27~5/9(103日) 営業運転再開H15.6.10	第5回定検による停止												
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	運転中 (定格熱出力運転)	第5回 H15.9.23~H16.2.18 停止期間9/23~1/19(119日) 営業運転再開H16.2.18	第5回定検による停止 点検停止3/29~6/20												

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率(%) (3月末現在)

3月	47.4
15年度累計	31.9
運転開始後累計	77.9

発電所発電電力量(MWh) (3月末現在)

3月	2,898,588
15年度累計	23,022,460
運転開始後累計	628,973,110

ドラム缶発生量(本) (H15年度第3四半期)

当期発生本数	239
貯蔵庫累積貯蔵本数	11,727
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H15年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	10,192
使用済燃料貯蔵プール管理容量	15,281
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	20,845

構内従業員データ(4/1現在)

従業員数(人)	東京電力	995
	協力企業	3,057
	合計	4,052
協力企業地域別比率	柏崎市	57%
	刈羽村	7%
	その他	19%
	県内小計	83%
	県外	17%
協力企業社数(社)		383

来客情報(3月末現在)

	3月(人)	年度累計(人)
地元	1,660	7,735
県内	1,402	19,398
県外	1,488	32,458
国外	37	425
合計	4,587	60,016

今後の主なスケジュール

予定日	内容
4月10日	「き・な・せ」イベント とうふ作り体験(き・な・せ)
4月18日	エコロジー&エネルギー おもしろ実験・工作教室(カムフィー)
4月23,24日	第1回 電気を作ろう! ネイチャープリント教室(柏崎エネルギーホール)
4月25日	ネイチャープリント教室(き・な・せ)
5月13日	次回定例所長会見予定

テレホンサービス 0180-99-2277
 インターネットホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
 0257-45-3131(代)